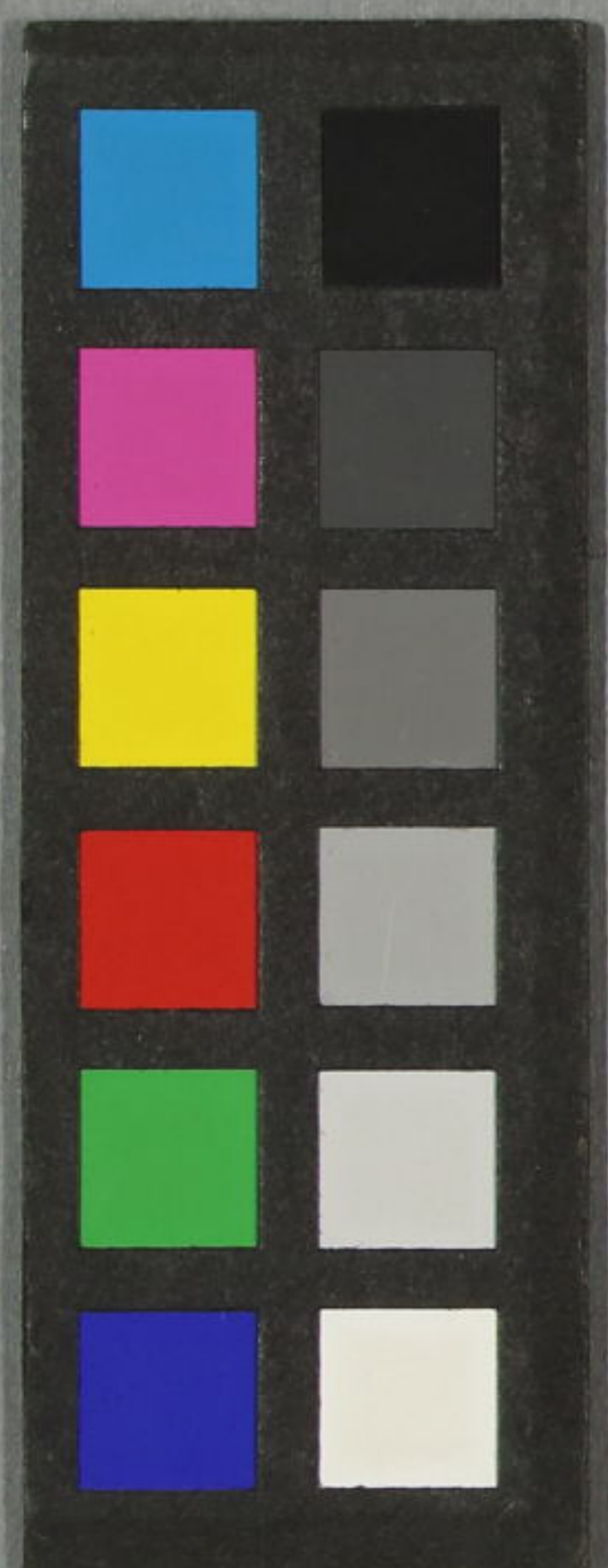




豪傑兒雷也譚  
三十編九

甘

上

へ 13

3811

43

20

1

2

3

4

5

6

7

8

9

30

1

2

3

4

5

6

7

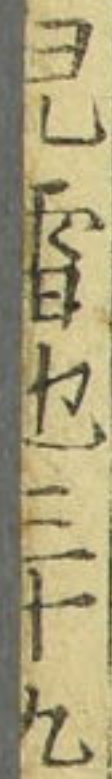
8

9





牛いぎまと犢ごうを伴ともひ馬うまとこ馬うまを誘いざなふ同どう氣き同どう病びょう相あ隣りんとともハ宜よろまる哉かな大おほ蛇へび丸まるも白しろ露つゆの偶ぐうあるごと



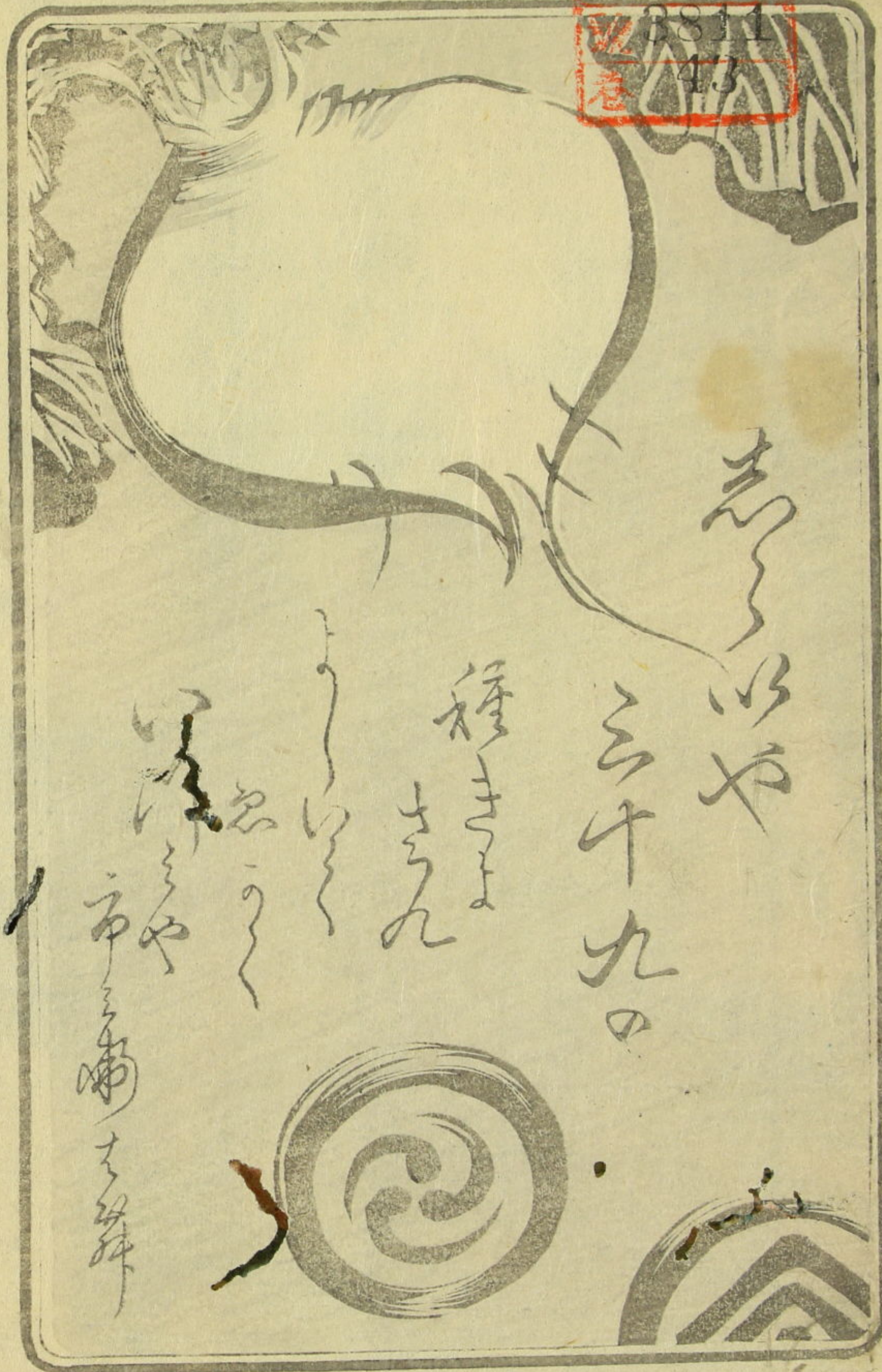
壽以如

三十九

種々

七九

市ノ南ノ外ノ





あゝ家や  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ

新遊妓白露



古遊君岸河太夫



白露本身は遠州横濱池  
の大蛇はて周馬と暮る一  
駿府弥勤街の色界よその身と  
沈るこそ是や因地の高聖が弥勤  
の出世をまつみ符合を然ハ  
つゝ色ども遂り大蛇丸が  
妻とありて毒を酩とと大火  
坑乃天と焼んとする性なり



天然はて假名の矢通詞  
帯へびとあり蚊屋のうらと  
素より設るふあふれど  
對画の趣向に二品を得  
たるもさう奇異なるを



鉦子戀情の鶏卵酒兒雷天下の靴軒蛇がうめぬの蝦蟆を睨めば  
蛙蟬眼前にふ出ると唐の揚烟が五言絶句を越後おんに翻訳し  
たる這兒雷也の柳史乃所要奥義と開て視せ宣宗さん聖書と  
壁小藏とこい科斗の文字乃と書籍其故吏に足る漆  
て蝦蟆を利るものゝあゝ大標首小雷と遣ふ科斗より雷の鳴  
と聞て尾落然して足生ト蛙と変ると云詞も蝦蟆と兒雷也  
に帰るものゝ欣然とる深意は左も右もれ吾等が於玉枝子  
と使ふ此身と極揚らして柳下一頭の家部流とある柳の枝  
小躍騰り小野の道風を驚し傘乃蛇の目もうち確らせんと  
蛙蟬半尺筆のころせと亡師の遺稿も拙序を加ふ

文久二拾  
壬戌初春

# 柳水亭種清記

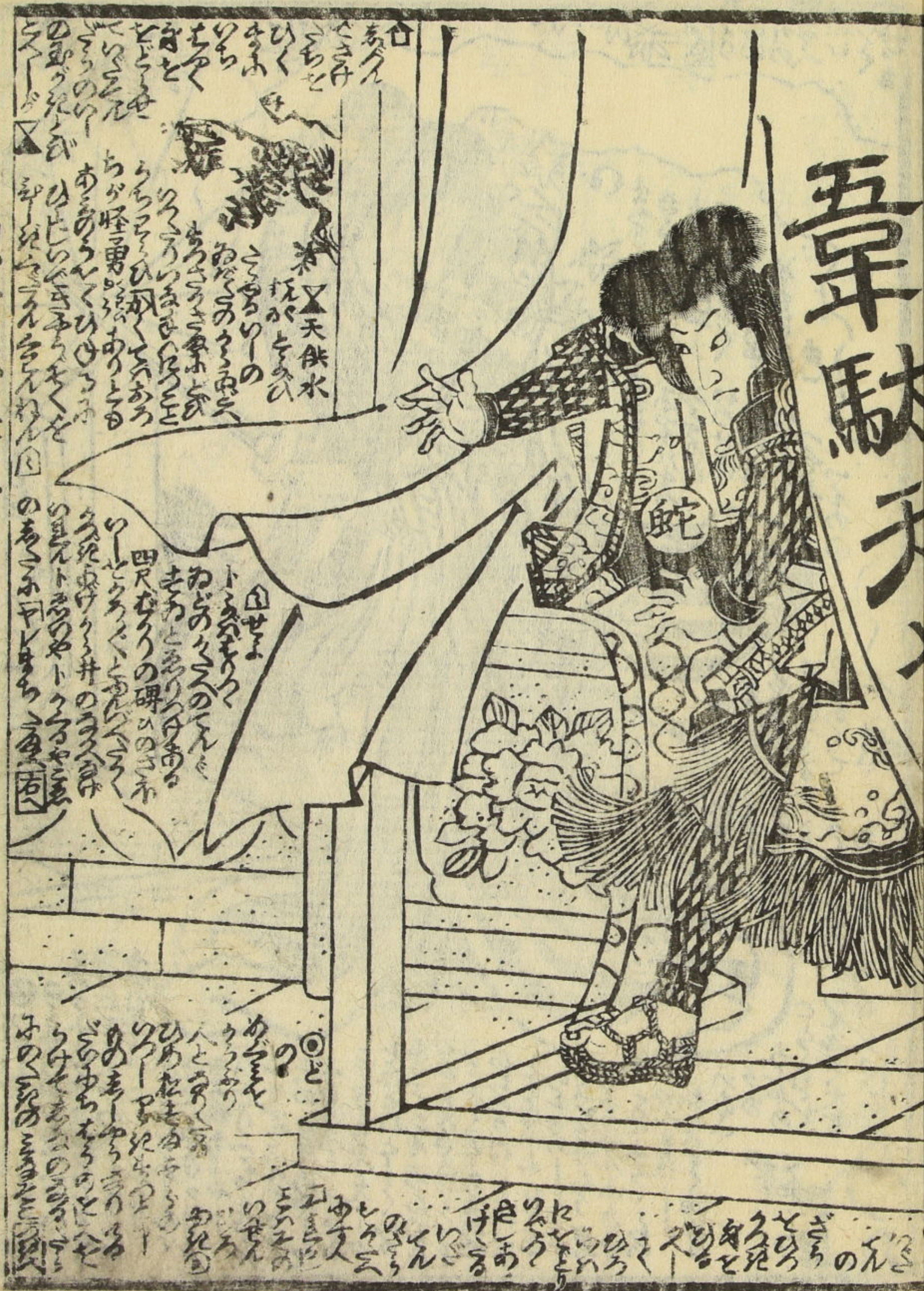


左のふち  
 花をひめ松  
 玉のすけ  
 のけとて  
 かんえん  
 のきり  
 まるく  
 まるく  
 まるく

井

也子ひるふとふ

臺駘天竺廟

[illegible]

田舎  
 トあるまう  
 わたあうへのもん  
 まわとありのひあ  
 四尺むくの碑ひのさ  
 りとあうとあうとあう  
 ちんせうくう井のさ  
 のせんトあうとあう  
 のあうとあうとあう

めづるや  
うとうや  
ひととすく  
ひめをま  
うのちを  
うけとま  
よのこを





日吉の宮

あまのこ  
いづれに  
あまのこ  
いづれに

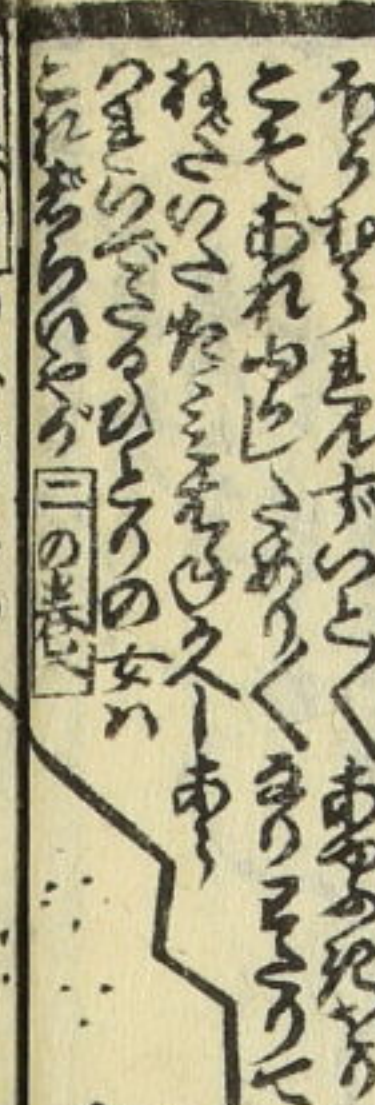


日吉の宮

あまのこ  
いづれに  
あまのこ  
いづれに



とある金銀のく  
る金銀のちり  
のちりあれ  
いとし  
おつきのくや  
ぐかり  
そぎみ  
うのれ  
ぐ



あて  
舟が力の  
すみ  
△  
魚を  
まて  
ぞん  
う  
の

已審也三十九



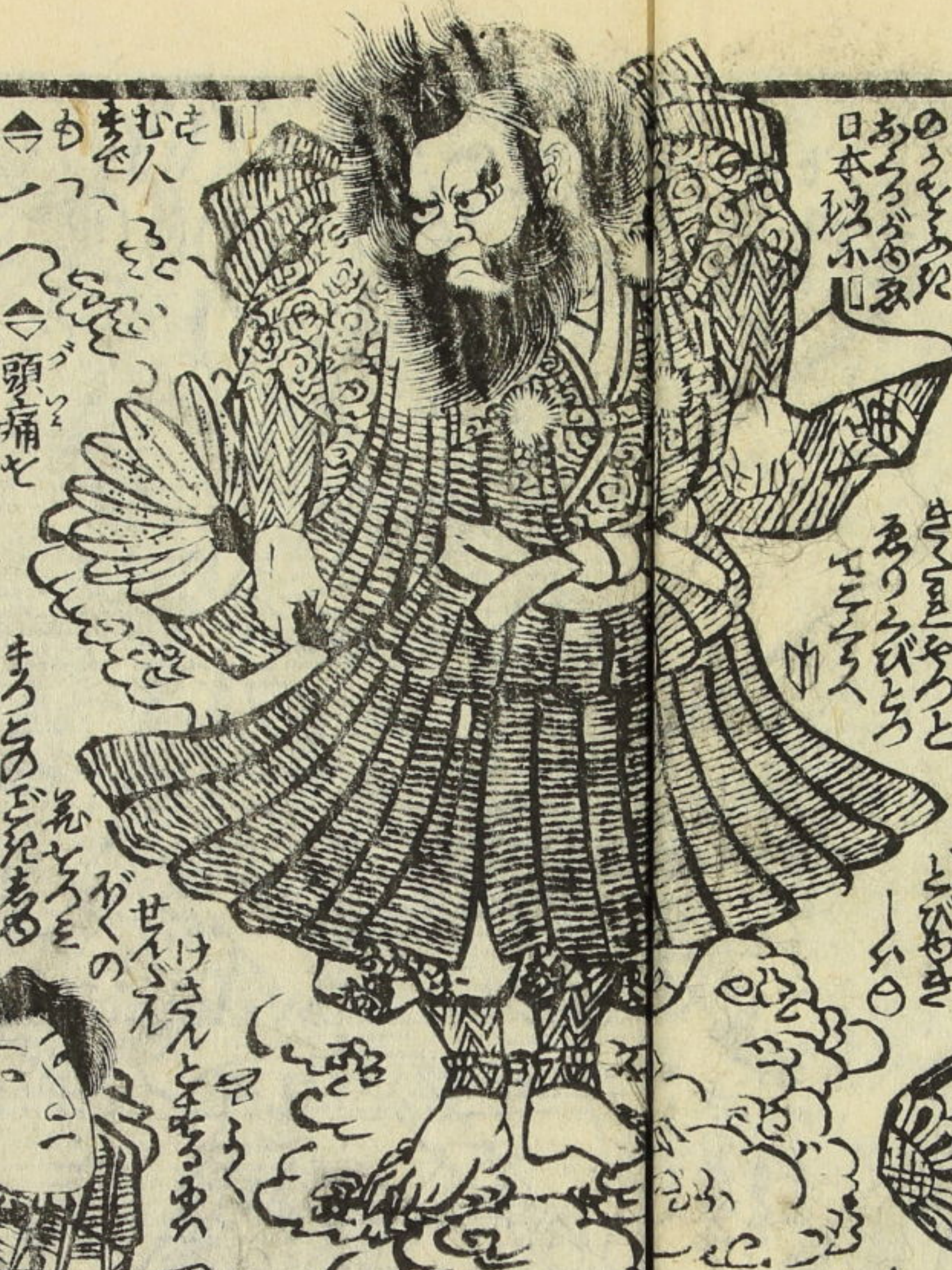
平らもちろけ  
 ころろねふ  
 いんごろろ  
 ちんちん



のをきく  
 あらうが  
 日本

ちとらんとうもきんぎょも  
あひつめりる中ぞあつち丸ハ

皇明









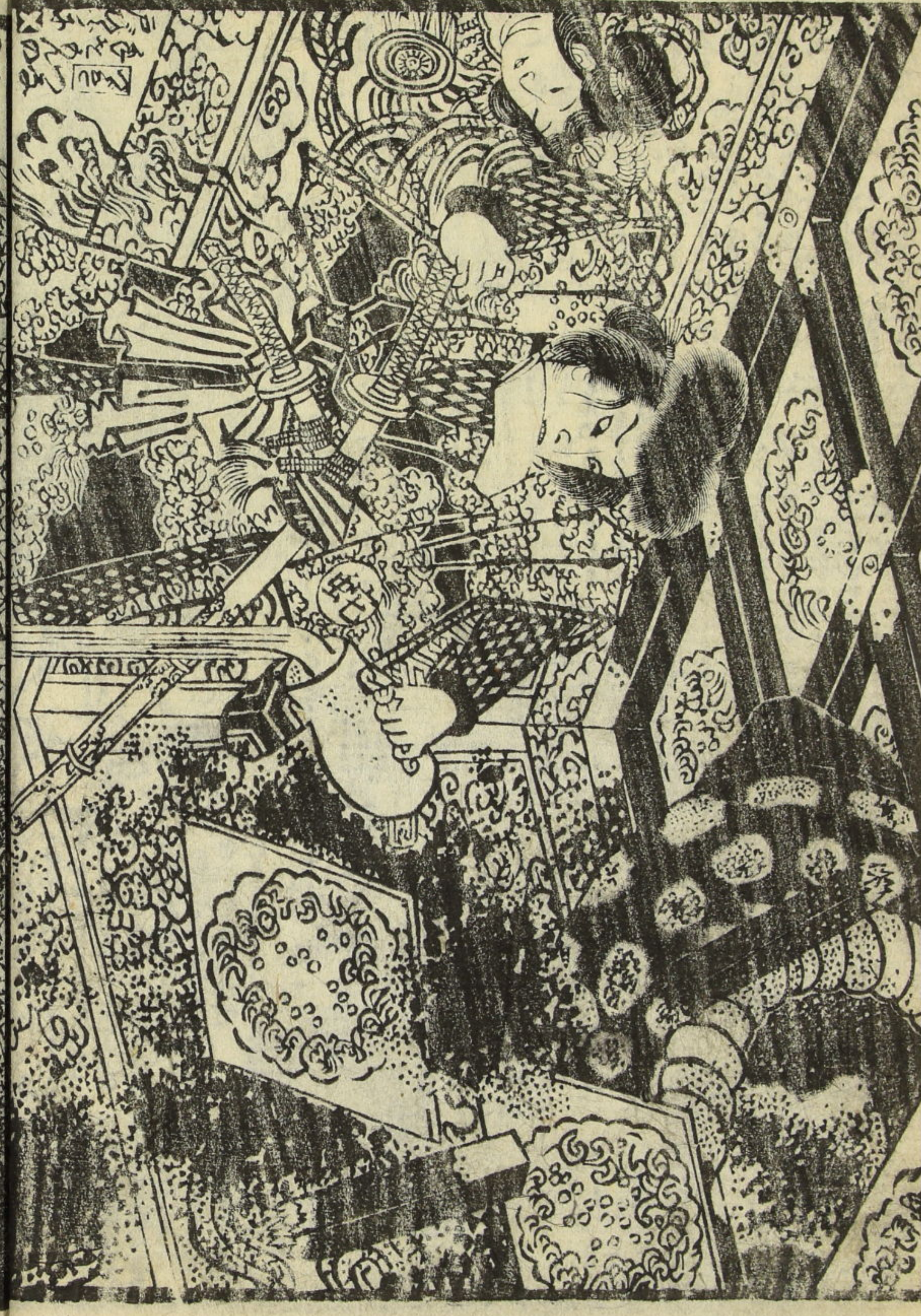
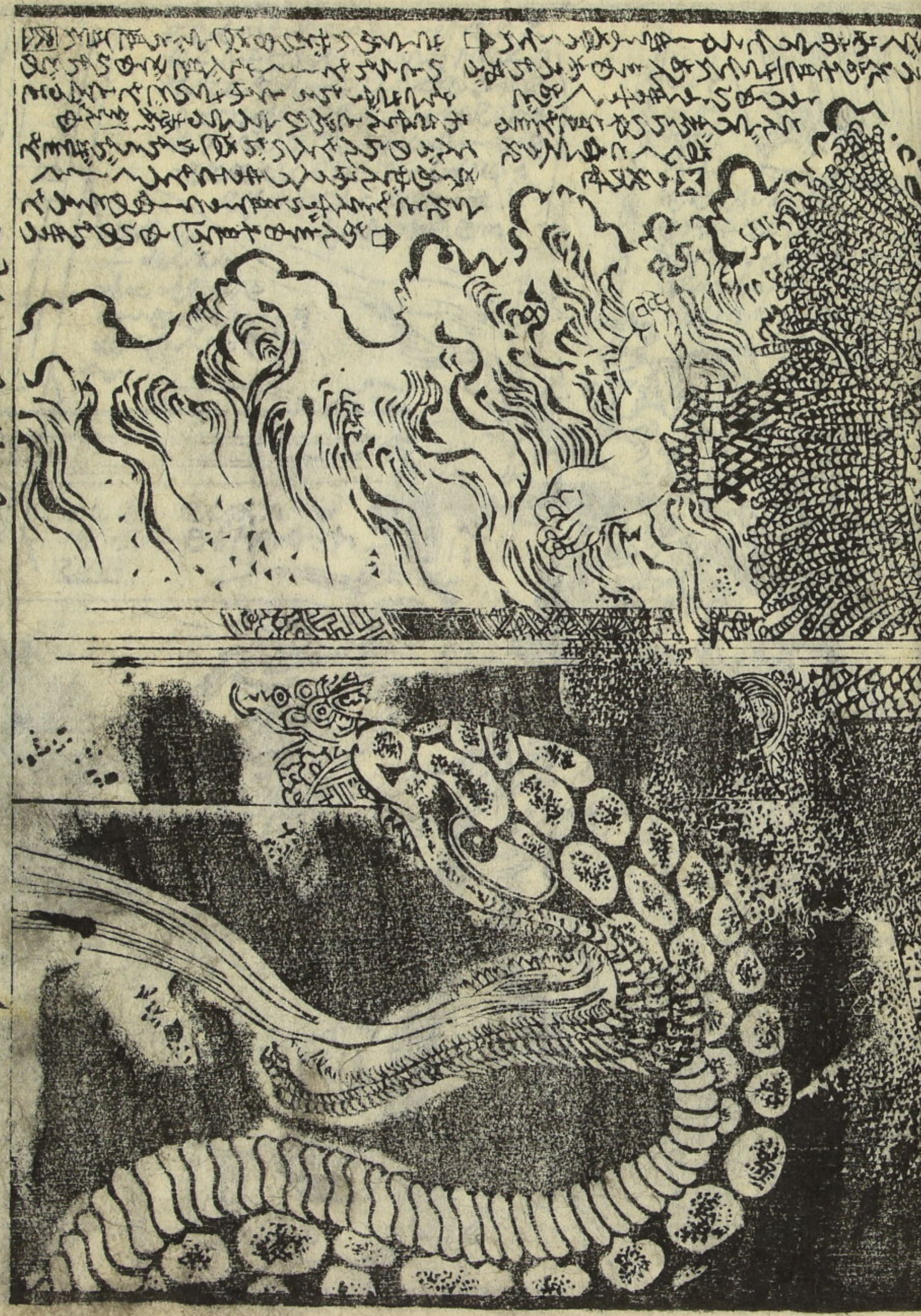

せふ  
ふ



やのうとふくそを死にけりてどやい  
いらんの毒汁飲もうなまぶかのどきも  
むらさく  
ちんぢせせんぜんあめの花の  
もやうともあらんのうしろにき【香史】

卷之四









己巳年三月九

乙



己巳年三月九

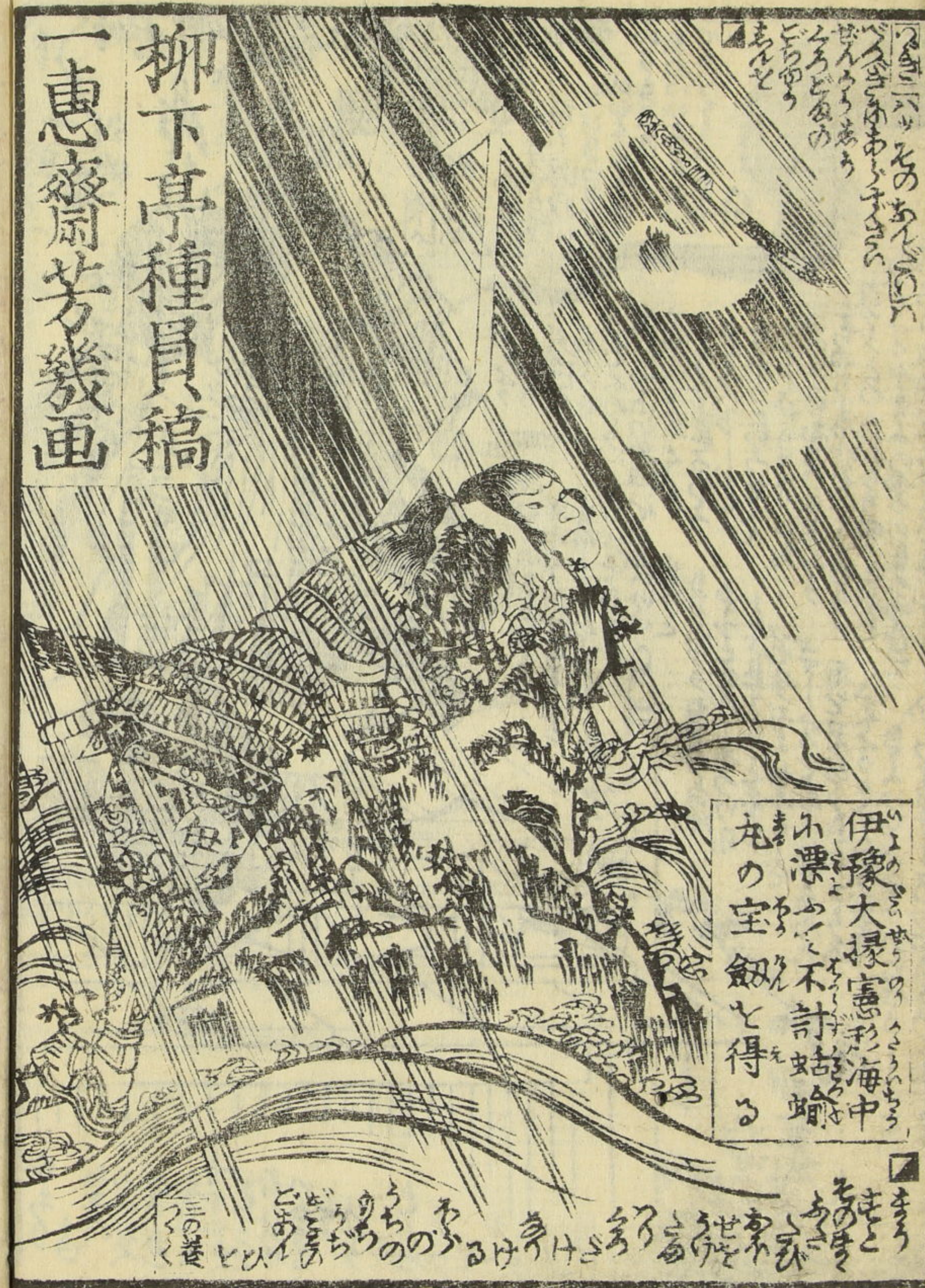
乙







伊豫大掾憲形海中  
漂々不計蛤蜊  
丸の宝劔と得る



柳下亭種員稿  
一惠齋芳幾画

櫻影花関守

初二編 柳煙亭種久作  
三編 一孟齋芳虎画

兄雷也豪傑譚

三十九編 柳水亭種清作  
四十編 朝霞樓芳幾画  
四十一編

風俗浅間嶽

十二編 種清作  
十三編 芳幾画  
十四編

女郎花五色石臺

十編 柳水亭種清作  
大尾 一惠齋芳幾画

不思議塚小説櫻

四編 柳水亭種清作  
五編 一惠齋芳幾画  
六編

甘泉堂癸亥新板目錄



柳下亭種員作

一惠齋芳幾画





兒雷也

豪傑譚

三十九之

柳水亭著

一惠齋畫

甘泉堂

[illegible]











[illegible]

ぬゆ生るるも  
 ああふふううあんま  
 きふふふふふふふ  
 やふふふふふふふ  
 藤 又うるふ  
 五千ふふふ

[illegible]











あはふ  
ちのり  
あまのり  
りそへてふど  
りりりこそ  
バ

[illegible]

















芳幾画 種員稿

忠臣 以呂波文庫

七編 柳煙亭種久作  
八編 歌川芳幾画  
九編

黄金水大盡

十四編 為永春水化  
十五編  
十六編 一友為芳幾画

假名 一休ざり

十四編 柳煙亭種久作  
十五編  
十六編 朝霞樓芳幾画



錦繪 問屋 草紙

芝神明前 和泉屋市兵衛



